

<b>グリホサートカリウム塩液剤</b> <b>タッチダウン iQ</b>	<b>取扱メーカー：</b> シンジェンタ  <b>原体メーカー：</b> シンジェンタ
<b>成分：</b> グリホサートカリウム塩〔アミノ酸系〕……………44.7%	<b>性状：</b> 暗褐色澄明水溶性液体 <b>毒性：</b> 普通物 <b>消防法：</b> ——

### 【品目特性】……………

- カリウム塩採用により活性成分（グリホサート酸）の高濃度化を実現した。
- 「拡張タイプ」と「浸透タイプ」の展着剤を絶妙なバランスでブレンドし、雑草への吸収量・吸収スピードを改善し、殺草スピード・殺草力を大幅にアップした。
- スギナ、ススキ、チガヤ、カヤツリグサ、セイタカアワダチソウなどの難防除雑草にも高い殺草力を発揮する。
- 散布1時間後に降雨があっても安定した効果を発揮し、作業効率が高まる。
- 土壤に落ちると、微生物により速やかに分解されるので、土壤に蓄積しない。
- 有効成分の特性は参考資料の「有効成分特性一覧表」を参照。

### 【使用上のポイント】……………

- 雑草の種類や大きさ、発生密度によって適正な薬量が異なるので、その程度に応じて適用範囲内で適宜薬量を増減する。
- 多年生雑草を地上部及び地下部まで含めて枯殺するには、雑草の生育盛期から生育終期又は開花期前までに散布する。
- 展着剤加用の必要はない。
- 他のグリホサートを含む農薬の使用回数と合わせ、作物ごとの総使用回数の範囲内で使用する。
- 散布には専用ノズルを用いる。
- だいたひ、てんさい及び樹木等の一年生広葉雑草に雑草茎葉塗布により使用する場合には、専用の器具を用いて、作物に付着しないように塗布する。また、分枝の多い雑草には2カ所以上塗布する。
- クズ、フジ等のつる類の防除の際は、つるの地際近く（50 cm程度）に1～3カ所浅く傷を付け、

所定の薬量を注入する。

- スギナの防除の際は、スギナ生育盛期を過ぎた時期及びスギナが他雑草に埋没している条件での散布は効果が劣ることがあるので、適期に注意して散布する。
- 牧草の適用雑草名「リードカナリイグラス」に使用する場合、雑草が生え揃った時期以降に散布し、草丈の目安は20 cm以上とする。
- 雑かん木に塗布処理をする場合、伐採後、直ちに切り口全面に直接塗布する。
- チューリップに用いる場合には専用の器具を用いて滴下する。

### 【薬効・薬害等の注意】……………

- アスパラガスに使用する場合、散布後萌芽する若茎に薬害を生じる場合があるため、萌芽前のできるだけ早い時期に使用する。
- さとうきびの畦間処理で使用する場合は、仮茎長が1.5 m以上のさとうきびに使用し、さとうきびにかからないよう雑草茎葉に散布する。また、倒伏したさとうきびに薬液が付着すると薬害が生ずるので、かからないように注意する。
- 土壤が風亡したりくずれたりするおそれのある所では使用しない。
- 農作物や有用植物に本剤がかかると激しい薬害を生じるので、使用の際には風向きなどに十分注意して散布する。
- 激しい降雨の予想される場合は使用をさける。
- 散布後、効果の発現までに一年生雑草で2～4日、多年生雑草では1～2週間を要するので、この間に刈り取らない。
- 水田畦畔に使用する場合には、水田内に流入または飛散すると薬害を生じるおそれがあるので、十分注意して散布する。
- 適用外作物（農作物、有用植物）への薬害など

の注意は「葉害注意事項解説」を参照。

●処理所から 15m 以内に発生したたけのこを食用に供さない。また、縄囲いや立て札により、たけのこが採取されないようにする。

●希釈水量 10 ℓ/10a では極少量散布専用ノズル、25 ～ 50 ℓ/10a では少量散布専用ノズルを使用する。

●共通注意事項 8. 適用作物群に関する注意事項を参照。

## 【安全対策上の注意】 .....

●魚類に影響を及ぼすので、使用時並びに使用後も注意。

●散布液を調整した容器及び器具は使用後石けん水等で十分洗浄する。

●散布器具・容器の洗浄水及び空容器は適切に処理する。

●共通注意事項 6. 街路・公園・堤とう等で使用する場合の注意事項を参照。



## 【適用と使用法】 .....

作物名	適用場所	適用 雑草名	使用時期	10 a 当り使用量		本剤の 使用回数	使用方法	グリホサートを含む 農薬の総使用回数
				薬量	希釈水量			
陸 稲	—	一年生雑草	耕起前又はは種前 (雑草生育期： 草丈30 cm以下)	250～ 500 ml	25～ 100 ℓ	2 回 以内	雑草茎葉 散布	2 回以内
水田作物 (水稲を除く)			耕起前 (雑草生育期： 草丈30 cm以下)			1 回		
移植水稲			は種30日前 ～出芽前 (雑草生育期) (乾田不耕起栽培)					
直播水稲			耕起直後～出芽前 (雑草生育期) (乾田耕起栽培)					
			水田作物刈取後 (雑草生育期)	50～ 100 ℓ				
水田作物 (水田刈跡)	水田刈跡	オモダカ クログワイ キシウスズメノヒエ	水田作物刈取後 雑草再生時 (草丈30 cm以下)		500～ 1000 ml	25～ 100 ℓ	1 回	
		一年生雑草	収穫14日前まで (雑草生育期： 草丈30 cm以下)	250～ 500 ml	50～ 100 ℓ			2 回 以内
水田作物 (水田畦畔)	水田畦畔	多年生雑草		500～ 1000 ml				
		スギナ		1500～ 2000 ml				
水田作物 畑 作 物 (休耕田)	休耕田	一年生雑草	雑草生育期 (草丈50 cm以下)	250～ 500 ml				
		多年生雑草		500～ 1000 ml				

作物名	適用場所	適用 雑草名	使用時期	10 a 当り使用量		本剤の 使用回数	使用方法	グリホサートを含む 農薬の総使用回数
				薬量	希釈水量			
さとうきび	圃場内の 周縁部	一年生雑草	雑草生育期 但し、収穫7日 前まで	250～ 500㎖	25～ 50ℓ	2回 以内	雑草茎葉 散布	6回以内
		多年生雑草		500～ 1000㎖				
	―	一年生雑草	耕起前又は植付前 (雑草生育期： 草丈30㎝以下)	250～ 500㎖	25～ 100ℓ	1回		3回 以内
			収穫60日前まで (雑草生育期：畦間処理) (但し、仮茎長1.5m以上)	500㎖				
麦 類 (大麦、 小麦(秋播) を除く)	圃場内の 周縁部		耕起又はは種前 (雑草生育期)	250～ 500㎖	25～ 50ℓ	3回 以内		
			雑草生育期 但し、収穫7日前ま で(草丈30㎝以下)					
大 麦	―		耕起又はは種前 (雑草生育期)		250～ 500㎖	25～ 100ℓ		1回
			は種後出芽前 (雑草生育期： 草丈30㎝以下)					
圃場内の 周縁部	雑草生育期 但し、収穫7日前ま で(草丈30㎝以下)		25～ 50ℓ		3回 以内			
	耕起又はは種前 (雑草生育期)							
小 麦 ( 秋 播 )	―	は種後出芽前 (雑草生育期： 草丈30㎝以下)	250～ 500㎖	25～ 100ℓ	1回			
		多年生 イネ科雑草				500～ 1000㎖		
	圃場内の 周縁部	一年生雑草	雑草生育期 但し、収穫3日前ま で(草丈30㎝以下)	250～ 500㎖	25～ 50ℓ	2回 以内		
			耕起又はは種7日 以前(雑草生育期： 草丈30㎝以下)					
雑 穀 類 ( そ ば を 除 く )	―	一年生及び 多年生雑草 (スギナを除く)	耕起又はは種前 (雑草生育期：草 丈30㎝以下)	500～ 1000㎖	25～ 100ℓ	3回 以内	2回以内	
そ ば		一年生雑草	収穫5日前まで (雑草生育期：草 丈30㎝以下)					
果 樹 類 (かんきつ を除く)		多年生雑草	収穫5日前まで (雑草生育期：草 丈30㎝以下)	500～ 1000㎖	25～ 50ℓ	3回 以内	3回以内	
			スギナ	収穫5日前まで (雑草生育期)				1500～ 2000㎖
かんきつ	―	一年生雑草	収穫5日前まで (雑草生育期：草 丈30㎝以下)	250～ 500㎖	10～ 100ℓ	5回以内		
		多年生雑草	500～ 1000㎖					
		スギナ	収穫5日前まで (雑草生育期)	1500～ 2000㎖	25～ 50ℓ			

作物名	適用場所	適用 雑草名	使用時期	10 a 当り使用量		本剤の 使用回数	使用方法	グリホサートを含む 農薬の総使用回数
				薬量	希釈水量			
野 菜 類 (えだまめ、 たらのき、 はくさい、 キャベツ、 レタス、ねぎ、 たまねぎ、 ほうれんそう、 にんじん、 だいこん、 はつかだいこん、 アスパラガス、 トマト、きゅうり、 なす、 オリーブ (葉)、 しゃくやく (薬用)、 ピーマン及び とうがらし類、 びわ (葉)、 薬用にんじん、 てんさい、 豆類 (種実、 但し、だいず、 らっかせいを 除く)、だいず、 かんしょ、 ばれいしょを 除く)	—	一年生雑草	耕起 7 日以前 (雑草生育期： 草丈 30 cm 以下)	250 ～ 500 ml	25 ～ 50 ℓ	1 回	雑草茎葉 散布	1 回
			ピーマン及び とうがらし類			2 回以内		
			オリーブ (葉) びわ (葉)			3 回以内		
			薬用にんじん		10 回以内 (1 年間に 2 回以内)			
			てんさい		3 回以内 (耕起前は 1 回以内、 生育期は 2 回以内)			
レ タ ス	耕起又は 定植 7 日以前 (雑草生育期： 草丈 30 cm 以下)	2 回 以内	3 回以内					
キャベツ はくさい		1 回	1 回					
ね ん ぎ	畦間処理：雑草生育 期 (草丈 30 cm 以下) 但し、収穫 7 日前まで	25 ～ 100 ℓ	3 回 以内	3 回以内				

作物名	適用場所	適用 雑草名	使用時期	10 a 当り使用量		本剤の 使用回数	使用方法	グリホサートを含む 農薬の総使用回数	
				薬量	希釈水量				
にんじん	—	一年生雑草	耕起又は は種7日以前 (雑草生育期： 草丈30 cm以下)	250～ 500 ml	25～ 50 ℓ	2回 以内		2回以内	
ほうれんそう			1回			3回以内			
だいこん						2回以内			
はつかだいこん						1回			
えだまめ たらのき			3回 以内				3回以内		
たまねぎ									
アスパラガス		スギナ	耕起7日以前 (雑草生育期： 草丈30 cm以下)	25～ 50 ℓ	3回 以内		3回以内		
			畦間処理： 雑草生育期 但し、収穫前日まで					1500～ 2000 ml	
		一年生広葉 雑草	萌芽前又は 収穫打切り後 (雑草生育期： 草丈30 cm以下)	1000 ml				25～ 100 ℓ	
				500～ 1000 ml					
ト マ ト きゅうり な す		一年生雑草	耕起7日以前 (雑草生育期： 草丈30 cm以下)	250～ 500 ml	25～ 50 ℓ	1回	雑草茎葉 散布		
			畦間処理： 雑草生育期 (草丈30 cm以下) 但し、収穫前日まで		25～ 100 ℓ	3回 以内			
豆 類 (種実、但 し、だいず、 らっかせいを除く)			耕起7日以前 (雑草生育期： 草丈30 cm以下)		25～ 50 ℓ	1回		2回以内	
			畦間処理：雑草生育期 但し、収穫3日前まで						
だ い ず			一年生雑草		は種後出芽前 (雑草生育期： 草丈30 cm以下)	250～ 500 ml	25～ 100 ℓ	2回 以内	4回以内
					畦間処理：雑草生育期 但し、収穫前日まで		25～ 50 ℓ		
		コウキヤガラ		耕起又は は種7日以前 (雑草生育期： 草丈30 cm以下)	25～ 100 ℓ				
	一年生雑草		耕起又は植付前 (雑草生育期： 草丈30 cm以下)	250～ 500 ml	25～ 50 ℓ	1回	1回		
植付後萌芽前 (雑草生育期： 草丈30 cm以下)		25～ 100 ℓ							

作物名	適用場所	適用 雑草名	使用時期	10 a 当り使用量		本剤の 使用回数	使用方法	グリホサートを含む 農薬の総使用回数		
				薬量	希釈水量					
かんしょ	—	一年生雑草	耕起7日以前 (雑草生育期： 草丈30 cm以下)	250～ 500 ml	25～ 100 ℓ	1 回	雑草茎葉 散布	2回以内		
しゃくやく (薬用)			畦間処理： 雑草生育期 但し， 収穫7日前まで 摘採7日前まで			3 回 以内		3回以内		
茶			一年生及び 多年生雑草		(雑草生育期 (春～夏期)： 草丈30 cm以下)	25～ 50 ℓ		2 回 以内	2回以内	
桑		一年生及び 多年生雑草	雑草生育期 (草丈30 cm以下)		25～ 50 ℓ	4 回 以内		4回以内		
樹 木 類		一年生雑草	は種後出芽前 雑草生育期 (草丈30 cm以下)	200～ 500 ml	25～ 100 ℓ	2 回 以内		雑草茎葉 散布	2回以内	
飼 料 用 とうもろこし			耕起又はは種前 (雑草生育期： 草丈30 cm以下)	250～ 500 ml	25～ 50 ℓ					
ソルガム			耕起10日以前 (雑草生育期)	300～ 500 ml 500～ 750 ml	25～ 100 ℓ					
牧 草	一年生及び 多年生雑草		は種10日前～ は種当日 (耕起整地後： 雑草発生前期)	200～ 500 ml	50 ℓ		3 回 以内		雑草木 茎葉散布	3回以内
	リードカナ リーグラス	最終刈取後 (雑草生育期： 草丈50 cm以下)	500～ 1000 ml							
	林 木	造林地 (地ごしらえ)	ススキ，サ サ類，クズ 等の多年生 雑草 落葉雑かん木	生育盛期以降 (夏～秋期)		1000～ 1500 ml		30 ℓ		
	樹 木 等	公園，庭 園，堤と う，駐車 場，道路， 運動場， 宅地，の り面，鉄 道等	一年生雑草	雑草生育期 (草丈50 cm以下)		250～ 500 ml		10～ 100 ℓ		
多年生雑草				500～ 1000 ml						
スギナ			雑草生育期	1500～ 2000 ml	25～ 100 ℓ					
ヒレハリソウ			雑草生育期 (草丈50 cm程度)	1000～ 2000 ml	50～ 100 ℓ					
ススキ クズ			雑草生育期 (草丈100 cm程度)							
ササ類			雑草生育期 (草丈50 cm以下)							
マツヨイグサ類			雑草生育期 (夏～秋 期草丈50 cm以下)							
			雑かん木	雑草生育期 (150 cm以下)		25～ 100 ℓ				

作物名	適用場所	適用 雑草名	使用時期	希釈倍数	使用液量	本剤の 使用回数	使用方法	グリホサートを含む 農薬の総使用回数
だいず	—	一年生広葉 雑草	生育期 (雑草生 育期) 但し、収 穫7日前 まで	2 倍	0.1 ml を 1 ～ 3 か所 / 株 (1000 ml / 10a)	2 回 以内	雑草茎葉 塗布	4 回以内
てんさい			生育期 (雑草生 育期) 但し、収 穫120日 前まで					3 回以内 (耕起前は1 回以内、生 育期は2回 以内)
樹 木 等	公園, 庭園, 堤とう, 駐 車場, 道路, 運動場, 宅 地, のり面, 鉄道等		雑草生育 期		0.1 ml を 1 ～ 3 か所 / 株	—	植栽地を 除く樹木 等の周辺 地に雑草 茎葉塗布	
		竹類	夏～秋期	原液	5 ～ 15 ml / 本		竹稈注入処理	
		雑かん木	伐採直後	原液又は 2 倍希釈 液	切り口全体に 十分量を塗布		植栽地を 除く樹木 等の周辺 地に切株 塗布処理	
林木 畑作物	林地, 放置竹林, 畑地	竹類	夏～秋期	原液	5 ～ 15 ml / 本	—	竹稈注入処理	—
		クズ・フジ 等のつる類	春～秋期	原液又は 2 倍希釈 液	処理部のつる径 注入量 ～ 2.0 cm 0.5 ml 2.1 ～ 3.0 cm 1.0 ml 3.1 ～ 4.0 cm 1.5 ml 4.1 ～ 5.0 cm 2.0 ml 5.1 cm 以上はつる 径が 1.0 cm 増える ごとに 0.5 ml ずつ 増量する		つる注入 処理	

作物名	使用目的	使用量	使用時期	本剤の 使用回数	使用方法	グリホサートを含む 農薬の総使用回数
チューリップ	ウイルス罹 病株の枯殺	1 ml / 株	第 2 葉展開期から 開花 20 日後まで	1 回 / 罹病株	ウイルス罹 病株葉への 滴下	1 回 / 罹病株